

地域産業委員会	
令和4年12月15日	
産業経済部	資料29番
所管	産業振興課

プロジェクションマッピング国際大会における受賞プレートの製造について

東京都及びプロジェクションマッピング協会が開催する「プロジェクションマッピング国際大会」受賞者への記念プレートに大田区の金属加工技術が採用された。

1 イベント概要

世界55の国と地域から241組がエントリーし、ファイナリスト19組の作品が国内外の審査員らによって選定され、グランプリ他各賞が決定した。

- ・名称：プロジェクションマッピング国際大会 光の祭典 TOKYO LIGHTS2022
- ・日時：11月11日（金）～13日（日）
- ・会場：明治神宮外苑 聖徳記念絵画館



2 受賞者プレートの製造

大会主催者より産業振興課が相談を受け、羽田イノベーションシティや町工場の視察、大田区特有の企業連携の仕組みである「仲間まわし」についてご説明し、製造に向けた発想やデザインイメージを高めていただいた。

製造にあたっては、ムソー工業(株)をハブにして、大田区企業を中心に9社（株極東精機製作所、メイホー(株)、(株)酒井ステンレス、城南工業(株)、(株)キョウエイ、(株)善大工業等）が「仲間まわし」にて、各社の技術を結集した。

今回の大会のテーマが“LIFE”であることから、本物のイチョウの葉への金属めっき加工に世界で初めて挑戦し、見事にテーマである「命」を作品に閉じ込めることに成功した。そのほか、随所に大田区企業の技術の粋をふんだんに込めた贅沢な作品となり、主催者側や各国の受賞者より大変高い評価を得た。